

## 定期報告（ウルグアイ内政・外交：2019年1月）

### 1 概要

#### 【内政】

- 29日、工業エネルギー鉱業大臣の交替
- 最新の国際ランキング

#### 【外交】

- 29日、ウルグアイ・イタリア政策協議
- 30日、中国とのスポーツ交流

### 2 本文

#### 【内政】

#### 1 工業エネルギー鉱業大臣の交替

29日、コッセ工業エネルギー鉱業大臣は、次期大統領選挙への出馬及びそのための選挙活動に専念するため辞職し、後任にモンセッチ同次官が就任した。コッセ前大臣は、与党拡大戦線（FA）の最大派閥である人民参加運動（MP P）の支持を得て次期大統領選挙に出馬表明している。

6月に実施される党内選挙において、FA公認候補4名（マルティネス・モンテビデオ県知事、コッセ前大臣、ベルガラ前中銀総裁、アンドラデ建設労組総書記長）から1名に絞られるが、現時点では、マルティネス県知事とコッセ前大臣の一騎打ちになるとの見方が有力。最近の世論調査では、マルティネス県知事が49%、コッセ前大臣が27%の支持率を得るとするものや、また、それぞれ40%と39%の僅差を予測するものもある。

31日、コッセ同前大臣は、他3名のFA次期大統領候補を自宅に招き、党内選挙に向けた選挙活動方針等を確認すべく会議を行った。あくまでFAによる政権維持が最優先であり、FA大統領候補者間で決裂が生じる類いの言動は避け、10月の大統領選挙を念頭に置いたFAの結束を維持することに合意した。

#### 2 最新の国際ランキング

1月に発表された、英エコノミスト誌による民主主義指数の国際ランキングにおいて、ウルグアイは世界第15位となり、前年の19位から更に順位を上げた。中南米では、ウルグアイに次いでコスタリカが第20位であった。なお、上位はノルウェー、アイスランド、スウェーデンと欧州勢が占め、日本は第22位であった。一方、同月にNGOトランスパーレンシー・インターナショナルが発表した最新の汚職認識指数ランキングで、ウルグアイは世界第23位、

中南米第1位であった。上位はデンマーク、NZ、フィンランドの順で、日本は第18位であった。

## 【外交】

### 1 ウルグアイ・イタリア政策協議

29日、ローマにおいて、両国外務次官同席のもと第1回ウルグアイ・イタリア政策協議が実施され、二国間で既に交渉が終了している刑事裁判にかかる司法共助、拘留者引き渡し及び租税条約に関する最終的な調整が行われた。その他、ウルグアイは、留学生及び労働目的に渡航する若者に対する便宜を図る協定案、また、領事協力に関する協定案をイタリアに手渡した。

### 2 中国とのスポーツ交流

30日、大統領府において、中国からウルグアイに対し、スポーツ用品・機材供与式が行われ、王剛在ウルグアイ中国大使、ロバージョ大統領府副長官兼国際協力庁(AUCI)長官、カセレス・スポーツ庁長官、ビダリン・ドゥラスノ県知事、オルシ・カネロネス県知事及びカラバジョ・パイサンドゥ県知事が出席した。今回供与されたのは、10競技（卓球、テコンドー、体操、柔道、重量挙げ、陸上競技、水泳、バスケットボール、サッカー及びハンドボール）の用品・機材、卓球台500台及びカネロネス県体操訓練センター設置用全機材等。

2016年のバスケ大統領訪中に際し、両首脳間でスポーツ分野の協定が署名されて以降、中国がウルグアイに対して行ったスポーツ関連供与の総額は8,500万米ドルで、2020年までに100万米ドルに達する見込み。供与の他、2018年には113名のスポーツ選手及び指導員が最大3ヶ月の研修のため訪中し、7名の中国人指導員がフォローアップのためにウルグアイを訪問した。2019年は137名のスポーツ選手及び指導員の訪中が予定。

## 【要人往来】

○往訪

●1日、バスケ大統領の訪伯（大統領就任式）

○来訪

●なし